

政策課題・提言（総務常任委員会）

| | |
|--------------------|--|
| 1 消防団員のなり手不足について | |
| 課題 | 人口減少や働き方の多様化による若者の町外への流出により、消防団加入者の減少・高齢化が課題となっている。今後、人口減少が進むことが見込まれる中、消防団組織を維持してゆくための抜本的な対策が必要である。 |
| 提言 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内の年齢別人口や就業者人数に見合った適切な加入年齢・定数等の検討を行い、関係条例の改正を行うこと。 ・女性団員の加入促進と、その登用を拡大するための措置を行うこと。 ・団員の待遇改善に取り組み、加入しやすい環境整備を図るとともに、団員の働く民間企業に対して消防団活動への理解を求めるための協力依頼を行うこと。 |
| 2 地域における災害への備えについて | |
| 課題 | 一人暮らしの高齢者世帯や、障がい者、介護を受けている方などの自主避難困難者に対する災害時の支援体制の構築が課題となっている。 |
| 提言 | <ul style="list-style-type: none"> ・町、自治会、民生委員間の連絡体制の強化を進め、情報共有を図り災害時の連携がスムーズに行えるようネットワーク化を図るとともに、自主防災組織の構築を進めること。 |
| 3 自治会加入の促進について | |
| 課題 | 住民生活・価値観の多様化により、自治会加入率の低下傾向が続いている。自治会未加入者が労務や金銭の負担なく便益を享受することにより地域住民との軋轢が生じるなど、影響が出ている。 |
| 提言 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入促進のため、啓発活動、広報活動を推進すること。 ・未加入者へ自治会加入の必要性を十分に説明するとともに、自治会長には移住者情報を適切に提供するなど、地域との協力体制の強化を図ること。 |
| 4 地域活性化について | |
| 課題 | 協働のまちづくりを推進するため、住民自らが地域のことを考え、課題の解決や地域振興に取り組むため地域づくり事業交付金制度が整備されているが、制度への理解が進んでおらず、町民の関心も低い現状にあり、有効活用がされていない。 |
| 提言 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体が取り組めるよう、制度を一層分かりやすく周知すること。 ・地域づくり事業交付金制度のみならず、地域活動への支援制度や地域活性化への助成金制度を幅広く周知すること。 |
| 5 景観の維持について | |
| 課題 | 本町は雄大な自然と豊富な観光資源に恵まれ、四季を織りなす自然景観はリゾート地として貴重な資源となっている。しかし、近年においては太陽光発電施設の設置が急増し、良好な自然環境による美しい景観の保全が課題となっている。 |
| 提言 | <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電施設の設置にあたっては、自然景観に配慮し、周辺と調和のとれた開発を目指すため、町独自に規制のための条例を整備し対策を講じること。 |